

水稻・麦・大豆栽培情報 9月号

平成 28年 9月 2日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

【大豆】

1 病害虫防除

7月18日頃に播種したほ場では8月25日頃に開花期となり、生育は平年よりやや遅れているようです。

莢伸長期から子実肥大期にかけて、曇雨天で涼しい天候が続いた場合、紫斑病の発生が多くなります。

一方、カメムシの防除は、開花期から20～30日後の子実肥大初期が効果的です。ハスモンヨトウの防除と合わせて必ず実施しましょう。

対象病害虫	防除適期	使用薬剤及び希釈倍数	使用液量(10a)
ハスモンヨトウ	9月15日～20日	ペガサスフロアブル 2000～4000倍 又は プレバソンフロアブル5 4000倍	100L
カメムシ類		スミチオン乳剤 1000倍	100L
紫斑病		トップジンM水和剤 1000～1500倍	100L

2 遅播き対策

7月末から8月初めに播種されたほ場では、乾燥により生育が劣っています。収量確保のため、中耕・培土を行いましょう。

中耕・培土は、雑草対策や排水対策にもなりますので、開花前に必ず実施してください。

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベルを確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！